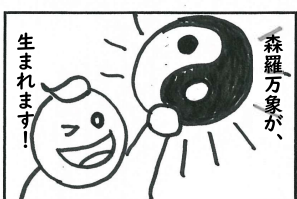
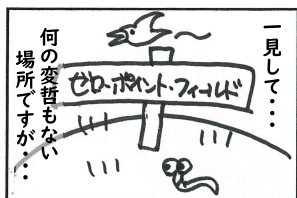




ゼロ・ぼいんと・
ふいーんど？

コラタン たのしみ



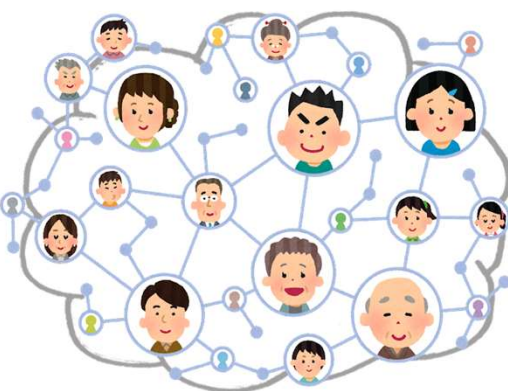
「たまりば+あそびば+よりどころ」を基本とした「試行錯誤の社会実顕ラボ」であるコラルトの3つの「さま」は「おてんとさま、おかげさま、おたがいさま」。その実現にはとても大事なステップがあります。それは・・・

自分を知る+お互いを知る

知らないことは怖いこと。恐怖は無知から生まれます。「知らぬが仏」とは言いますが、知らずにはいられないのが人の性（さが）。知ってしまえば、あとは自分がそれをどのように解釈するかという、自分でコントロールできる選択肢に変わります。

個人情報保護が標榜される「分けられた」世の中だからこそ、その反動として、ふたたび「つながる」ためのゆるふわなコミュニティが必要とされています。

コラタン（参加者≒社員）同士のゆるふわなつながりは「お互いを知ること」からはじまります。そのためにはまず「自分を知ること」。
自分を知り、相手に知ってもらい、相手を知る・・・つまり**情報（情けに報いる）**です。



つけたしのゆるふわなコミュニティで、お互いを受け容れ、安心・安全を感じることができたなら、その次はあなたの個性＝あなたらしさを発揮するチャンス！です。



自分を知るには・・・

「自分を知る」とはいつでも、一番わからないのが自分自身かもしれません。

100万分の1プロジェクト

コラルトでは、参画する皆さんが自分自身を知るために、まずは「100万分の1プロジェクト」への参加を推奨します。

実は誰でも100万分の1になる要素を持っています。

プロジェクトに参加されると、まず自分自身がどのような形で100万分の1であるのかという点を考えて、情報（個性）として登録してもらいます。

100万分の1を見つける時には掛け算を使います。

例えば・・・

100万人都市在住 (1/100) × 鉄道ヲタク (1/100) × 左利きゲイ (1/100)
⇒ これで100万分の1になります。

この数値的な根拠は厳密でなくても構いません。自分がどう感じているのが大切です。

どんな人でも、「正しく」努力すれば
100万人に1人の存在になれます。



「こころが動く」を分析

より深く自分を知りたいのであれば、自分のこころが動いた瞬間をメモしていくようにすると良いでしょう。

喜怒哀楽、どのような時に心が動いたのか？

その分析には、易経の教え「八卦>64卦>384爻(こう)」が役立ちます。

易経は、超古代から脈々と積み重ねられてきた「統計学の叡智」が詰め込まれた、森羅万象をひもとくための指南書（ガイドブック）なのです。

これにより、自分の心の動きの傾向がわかるようになります。それがわかればあとは「心が喜ぶこと」をやるだけです。

「こころが喜ぶ」プロジェクト

コラルトではコラタンの皆さんが「こころが喜ぶ」ことの実践を推奨します。

自分のため＝みんなのため、法人を共々+活用することで、さまざまなプロジェクトを展開することができます。

自分らしい終活のメニューは？／親族にしかできないことを、法人をからめた組合員契約でどのように担保するのか？／外貨（日本円）を稼ぐにはどうすればいいか？／ローンの有効的な使い方は？・・・などなど。

こころの数だけプロジェクトは生まれます。



さて、今回でひとまずコラルトというコミュニティのグランド・デザインをご紹介できたかと思います。

あとは実際にコミュニティを運営する試行錯誤を通じて、リアルな経験を積み重ねていただけです。

紆余曲折もたくさんあるかと思いますが、そういうこともみなさんと一緒に、経験として楽しんでいきたいですね。（たいこん）